

令和4年度 はちまん・あづちふるさとアカデミー 収支会計報告

収入の部

項目	金額	内訳
繰越金	255,343	
会費	401,000	会費 251,000円 近江八幡ロータリークラブ 篤志家土田氏他
補助金	100,000	ハートランド推進財団 まちづくり補助金
事業費	457,660	初中級 受験料及び事前勉強会 各参加料342,200円その他
その他	694,945	企業協賛 広告料694,945円(折り込み手数料)
利子	2	
合計	1,908,950	

支出の部

項目	金額	細項目	金額	金額	内訳
事業費	10,520	会議費	10,520	10,520	理事会・役員会・委員会(検定問題作成) 総会等
	377,457	事前勉強会及び検定費	377,457	194,867	記念講演会文化会館使用料 100,000円 講師パネラー5名司会謝礼 94,867円
				70,200	観音正寺、奥石神社、武佐宿、千僧供歴史資料館、福寿寺 参拝、駐車場代、バスお礼土産他
				97,154	ヴォーリス建築講演会他 見学会 講師、パネリスト、司会、5名謝礼 見学会 お礼等 66,622円 その他 平和礼拝堂使用等 23,910円
				15,236	検定 中級 ヴォーリス学園使用料 5,100円 初級 文化会館使用料 10,136円
1,350,000	印刷費(企画費)	1,350,000	1,350,000	あづちはちまんふるさと検定(もっと知りたい近江八幡参考本) 1000円×1000冊=1,000,000円 企画費 350,000円 その他	
38,500	広告	38,500	38,500	新聞掲載	
46,120	通信費	46,120	46,120	切手 ハガキ 電話代 インターネット他	
合計	1,822,597		1,822,597		

収入 1,908,950円 支出 1,822,597円 差引 86,353円(令和5年度へ繰越し)

令和4年度 はちまんあづちふるさとアカデミー 事業報告書

令和4年度も一昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症防止に振り回された一年でもありました。

事業を実施するにも国、県、市からその都度、指導要綱、又主催側での自主取組に悩んだ年でもありました。

施設(会場)を借りるにも常にクラスターの危機を感じ、緊張の張り詰めであり、催しものするには、役員をはじめ、会員皆様方一同も心を引き締め、細心の注意を払い、マスク着用、手指消毒等の取組の努力をしながら取り組んでまいりました。

昨年残した事業として、安土方面の旧伊庭家住宅(市指定管理)は見学中止となり、8月22日から翌年3月25日(金)に変更して、沙沙貴神社と浄厳院は実施いたしました。

また、受験前の9月26日、近江八幡ロータリークラブ様との共催で記念講演会を開催し、一部は滋賀県立大学名誉教授の中井均先生による「観音寺城・安土城・八幡山城」と題した講演、二部は先生を囲んで戸井氏のコーディネーターで、ロータリークラブ会長田原氏、市役所市史編纂室坂田氏、秀次倶楽部高木理事長らによるパネルディスカッションを行いました。

会場となった文化会館は、感染防止に配慮し、入場者を制限しましたが、350名余りの聴講者が熱心に聞き入っておられ大変盛況でありました。

以上がコロナ感染で延期になっていた事業が完了しました。



令和5年度 第3回はちまん・あづちふるさとアカデミー 定例総会 次第

令和5年6月18日(日)
午後1時30分～
於：近江八幡市立資料館

- 開会
司会並びに開会挨拶来賓紹介(近江八幡市教育委員会)
- 代表あいさつ
- 令和4年度 初級・中級検定 優秀者表彰式
初級優秀賞
・一般 善家 早苗(宇津呂町) 100点
・一般 浅田 耕也(桜宮町市役所) 100点
・一般 片山 香織(桜宮町市役所) 100点
中級優秀賞
・一般 廣田 平治(北庄町) 92点
・中学生 三崎 和駿(土田町) 72点
・小学生 赤羽 郁歩(野村町) 72点
※上記優秀賞の方には教育委員会より「賞状」と、ふるさとアカデミーより「粗品・近江八幡名物」を進呈
※中級合格者には全員に「市立資料館入場年間フリーパス」を進呈
旧：株式会社かんでんジョイナス 現在：株式会社バソナジョイナス様にご協力いただきました。
- 議長(定款18条に基づき議長は理事長)
- 議事録署名人名指名 2名()
- 議事(議案)
①令和4年度はちまん・あづちふるさとアカデミー事業並びに収支会計報告の承認
②監査報告の承認
③令和5年度はちまん・あづちふるさとアカデミー事業計画(案)並びに収支予算書(案)の承認
- 役員改正、その他

<10分間の休憩>

- 講演会「最新の安土城」
講師 松下 浩氏
プロフィール
1963年、大阪府生まれ。1990年3月、大阪大学大学院文学研究科修士課程(史学専攻)修了。その後、滋賀県教育委員会事務局文化財保護課、滋賀県安土城郭調査研究所を経て、現在、滋賀県文化スポーツ部文化財保護課課長補佐兼安土城・城郭調査係長。
専門は、戦国・織豊期の政治史、都市史、城郭史。
- 閉会

■令和4年度の事業について 感染防止の対策の上、6月19日(日) 観音正寺、岡村住職の法話とお寺の沿革、寺院内を見学させていただきました。参加者・会員57名、次に奥石神社にて、大林宮司さんから神社の由来をお聞きし、境内の見学の上、拜殿で昼食をいただきました。

続いて、奥石神社から中山道(武佐街道)をバスで移動し、武佐宿にて児玉館長から、江戸時代における武佐宿の役割(特に旅籠ハタゴ)が説明され、参加者からも熱心な質問が出されました。

終日暑い日となり、観音正寺の山頂まで階段を登っていただき、大変お疲れの方もおられ、ジョイックスの益田さん(会員)の計らいにより、バスをご用意いただき、涼しい車移動を提供いただき誠にありがとうございました。

■8月28日(日)、参加者・会員57名、千僧供町に歴史資料館の見学と住蓮坊古墳(円い形をした古墳、福寿寺は天長6年(829年)に創建された黄檗宗の古刹で、ご本尊の千手十一面観音像、多々良住職が寺の沿革と観音像について説明されると、特に小学生の参加者から住職に質問される場面もございました。

講演会：講師 松下 浩氏



安土城－調査研究の最新情報

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課
松下 浩

■9月18日（日）記念講演会ヴォーリス建築について、大阪芸術大学名誉教授の山形政昭氏による講演、会場はヴォーリス学園平和礼拝堂5階で、二部は、先生を囲んでコーディネーターとして一粒の会会長伴正憲氏、パネリストには、吉田与志也氏、辻友子氏、巽利浩氏らによるパネルディスカッションを行いました。なお、ここでも感染防止対策のため、定員80名としておりましたが、120名余りの参加があり、大変盛況でありました。（司会進行：渡辺ようこ様）

また、講演後、見学者が多いため、三班に分かれて、山形先生、藪記念館館長、辻ハイド館館長からご説明をいただきました。

■10月16日（日）第2回あづち、はちまんふるさと検定の初級実施。コロナ感染で受験は前年度比べて少なく、特に中高生は数名でありました。初級 受験申込者59名 当日受験者57名 合格者50名 合格率87.7% 市内66% 県内23% 県外11%（広島、大阪、京都）

■12月11日（日）第2回あづち、はちまんふるさと検定の中級実施。中級については、参考本「もっと知りたい近江八幡」の制作が、大変遅れ、誠に申し訳なかったです。会場はヴォーリス学園浅小井校舎。中級 受験申込者83名 当日受験70名 合格者48名 合格率68.5% 12月19日（月）にインターネットを通じて本人に通知発表。一応、初・中級は、2回に分け、無事終了であった。

※中級については、参考本が遅れ誠に申し訳ございませんでした。受験者も参考本が遅れたこともあり、試験問題の内容、様子見をされ、受験者も少なくなりましたと思います。別紙 受験者皆さんの当日アンケートの結果表を添付しております。

■12月17日（土）会員研修会：秀次倶楽部研修旅行に当アカデミーも合同参加
・京都 嵯峨野（村雲別院・清涼寺）・東山 岡崎（善正寺）・大津 坂本（滋賀別院）

■アカデミー関係会議
役員会19回 理事会6回
検定問題作成委員会

初級 5回 担当理事（堀尾）
中級 8回 担当理事（井戸）

1. 安土城研究の歩み

- ・安土城＝天主 天主の復元研究が主流
cf. 内藤昌・宮上茂隆・佐藤大規
- ・昭和15～16年：安土城跡での初めての発掘調査 天主・本丸跡
- ・昭和35～50年：主郭部の石垣修理～主郭部の石垣のほとんどを修理 オリジナルは伝二の丸跡のみ
- ・1980年代 縄張り研究の発展
～近世城郭は縄張りの到達点 そこにいたる中世城郭の発展に関心
- ・平成の調査研究～平成元年、特別史跡安土城跡調査整備事業がスタート
- ・20年計画 城跡の全体構造が課題に

2. 特別史跡安土城跡調査整備事業で発見された安土城の実態

(1) 直線の大手道

- ・大手口から約180m直線的に延びる道
- ・石段幅約7m 両側に石敷き側溝とその外側に石塁がそびえる
- ・城内でもっとも規模の大きな立派な道

(2) 伝羽柴秀吉邸跡

- ・大手道石段西側の上下2段の郭から成る屋敷地 下段より櫓門跡・厩跡、上段より屋敷跡を検出
- ・上段の屋敷は瓦の出土が無く、礎石も小さいことから、椽皮葺きもしくはこけら葺きの平屋建物の可能性が高い
- ・羽柴秀吉の屋敷とする確証は無い
→郭の評価が問題 重臣屋敷？ 信長の居館？ その他